

平成25年度第2回

東御市地球温暖化対策地域推進協議会議事要旨

H26. 3. 6 (木) 13:30～16:00

勤労者会館 2階大会議室

【出席者】

(委員：敬称略)

高橋 大輔、宮原 則子、大平 重利、笹平 英俊、中嶋 隆之、白鳥 範男、関 正喜、
高藤 圭一、佐藤 千枝、森 まり子、中澤 亥三、工藤 浩平]

[欠席：川口 隆也、新田 詔三、荻原 猛]

(事務局)

山口市民生活部長、塚田市民課長、勝山課長補佐兼生活環境係長、赤川生活環境係主任

【配布資料】

- ・東御市地球温暖化対策地域推進協議会会議次第
- ・東御市地球温暖化対策地域推進協議会委員名簿
- ・東御市地球温暖化対策地域推進協議会設置要綱
- ・「COP19における削減目標値の見直しについて」
- ・東御市全体の電気使用量の推移（中部電力㈱笹平委員より）
- ・北御牧支所 薪・ペレットストーブ設置について
- ・市内における電気自動車充電設備の整備状況について
- ・ベイシア東御店 レジ袋無料配布中止について（2月1日より／1枚3円）
- ・スマートメーターの原価参入について（中部電力㈱笹平委員より）
- ・エコアクション21説明資料（中澤委員より）
- ・保存版 東御市地球温暖化対策地域推進計画 課別実績（短期実行計画）
- ・保存版 東御市地球温暖化対策地域推進計画 課別推進施策総括表（中期実行計画）

【議 事】

1. 開 会

2. 部長あいさつ

3. 会議事項

(1) 第19回 気候変動枠組条約締約国会議（COP19）における二酸化炭素削減目標の見直しについて

決定

(2) 新規事業等について

- ・松くい被害木を燃料とする薪ストーブの設置
- ・電気自動車充電設備の設置
- ・ベイシア東御店レジ袋無料配布中止

(3) スマートメーターについて

(4) 意見交換

4. そ の 他

エコアクション21について

【審議内容】

(1) 第 19 回 気候変動枠組み条約締約国会議 (COP19) における二酸化炭素削減目標の見直しについて

赤川

11 月 7 日からポーランドで開催された COP19 にて、日本の削減目標値が 1990 年比で 2020 年までに 25% 減であったものから、2005 年比で 2020 年までに 3.8% 減に下方修正された。東御市の目標については、冊子の 37 ページに記載されているが、東御市は 1990 年度の実績がつかめないことから、基準年を 2005 年で設定しており、

当初 30% 減であったものから

3.8% 減に下方修正となっている。

8 月の会議でお示した短期計画 2012 年までの達成率が 47% と、満足のいく結果ではなかったが、これらを COP19 の目標に当てはめると、

2020 年の目標値が当初は 45,608.00 トンの減であったものから、

5,773.97 トンの減となり、

昨年度すでに 7,000.00 トンの減という実績

であったため、すでに達成されたことになる。(達成率 121%)

もう 1 点目として、先日環境省より 3.8% 削減目標値は、原発のあり方が定まらない現時点での目標値であり、火力発電に頼る分 CO₂ の増が見込まれるため、3 年以内に確定的な目標を設定見込みであるとの会見があった。

以上の理由により、現段階では当初の目標のまま進めていき、3 年後に国の方針が定まったところで、再度見直しを行いたいと考えている。

議長

今回、原発の停止に伴って CO₂ の削減目標が下方修正されたことに対して、東御市では、そこに合せずにこれまでどおりの目標に向かって進みたいとの話だが、これに関して、ご質問があれば。

委員

3 年後にまた修正をするのであれば、今のままの目標でいいのではないか。

議長

それでは、現行の目標にて進めていくこととしたい。

(2) 新規事業等について

赤川

旧北御牧村役場である、北御牧庁舎に薪ストーブ2台とペレットストーブとペレットストーブが設置されました。長野県グリーンニューディール基金事業を活用し、10割補助により、防災及び再生可能エネルギーの観点から薪ストーブを設置した。有事の際には電気を使わず雑木等を利用し暖を確保できるものとなっており、現在稼動をしている。これまで灯油を利用した暖房設備を利用していたが、薪ストーブ稼動後は、灯油の節減にも繋がる。

電気自動車の充電設備設置場所については、道の駅は売店近くのサンライン出口側に設置され、中央公民館は正面駐車場の身障者用駐車場の隣に設置される。

また、中央公民館の充電設備については、蓄電池を内蔵しており、ピークカットに取り組むことで電気代を抑えられることと、停電時にもそこから電源を確保することができる。こちらは、経済産業省の補助と三菱やカーメーカー4社の寄付をいただき、設置となった。

議長

ベイシア東御店レジ袋無料配布中止について、2月1日からレジ袋が有料化された。市内では初めての取り組みになるかと思う。なお、レジ袋は1袋3円。

赤川

その他25年度の実績として、薪ストーブの設置補助については、5台の目標に対し10台の実績。LEDについては、今年と来年で集落間の防犯灯のLED化を進めている。区管理の防犯灯更新については、243基と大幅に更新されている。公用車のエコカー導入ということで、本日電気自動車が入庫される。また、EVの導入促進として、本年度は道の駅への充電設備の設置と、来年度に中央公民館に設置を予定している。民間では、近鉄物流の隣の建物（北陽電設さん）に充電器が設置された。レジ袋削減運動の実績として、ベイシアでのレジ袋有料化等がある。

その他の補助金等の細かい数字については、3月末まで数字が確定していないため、来年度の8月の会議で報告したい。

塚田課長

電気自動車の充電設備については、県でビジョンが策定され、市内に8箇所設置という計画が示されている。これに基づき、庁内で整備方針を作り、基本的には公の施設を中心に8箇所つける予定。内2基は民間に計画を立てている。この方針については、国やメーカーの動向を見ながら、毎年見直しをかける予定。その中で、優先順位をつけ、道の駅や中央公民館等への設置を計画している。

委員

ペレットストーブに興味があるが、ペレットは安定供給できる仕組みになっているのか。

赤川

ペレットについては、森林組合と3年間の協定を結んでもらうことが補助の条件となっている。

委員

充電器について、充電時間はどれぐらいかかるのか。順番待ちによる行列等は発生しないか。

赤川

メーカーによっても変わるが、30分から50分程度。道の駅については、待ち時間中の食事等により相乗効果を期待している。また、チャデモ会員は、空き状況や順番待ちもメールで確認が出来るシステムになっている。

委員

有料になるのか。

赤川

有料。また10月に改正になるが、現在は月額1,000円（チャデモ会員の場合）となっている。

勝山補佐

市内に充電器が日産自動車さんの営業所にしかなく、軽井沢方面から上田方面に向かう中間の拠点とするため、道の駅に設置された。また、改築により災害拠点ともなる中央公民館に蓄電池付の充電器を設置する予定。今後、温泉施設や海野宿の大熊家住宅へも充電器の設置を計画している。

塚田市民課長

関東近郊には、充電器が設置されているが長野県はあまり整備が進んでいない。軽井沢までは来るが、そこから西側がだめだということで、県もビジョンを策定し、市町村に呼びかけがあった。そこにメーカー等の支援が入り、現在に至っている。なので、まず整備をしないと自動車が普及していかないという考えのもと

実施している。市も一般財源を充てるのは厳しいが、補助があり維持管理についても面倒を見てもらえるとうことで、持ち出しがほとんどなく実施できている。

委員

今のガソリン車と比較して、EV 車というのは排気ガスの排出量の違いはどれくらいあるのか。また、EV 車は軽井沢までとの話があったが、EV 車の普及は 2020 年度は約 5,100 台となっているが、果たして今後この台数となるのか。

塚田市民課長

今の検証数値については、まだ確認していない。いずれにしても、目標に基づいて削減目標を達成する手段として実施している。また調査をして回答したい。

委員

この会議は、CO2 の削減を目的とした会議であると思う。ガソリン車から EV 車に変えた際にどれだけ CO2 の削減ができるかということも入れてもらいたい。

塚田市民課長

改めてこちらでも検証させてもらう。次回会議にてお示しする。

委員

電源は、家庭用の 100V と工場用の 200V で違いがあるが、特殊な電気なのか。

赤川

中央公民館も道の駅も急速充電器は 200V の電源を使用している。

なお、普通充電器については 100V も可能。

(3) スマートメーターについて (中部電力㈱ 笹平委員より)

スマートメーターについて説明。以下要点。

- ・ 検針の効率化を図り、コストダウンにつながる。
- ・ 電気使用状況の見える化と節電
- ・ 最適な電気メニューのコンサルティング
- ・ 30 分単位で計量が可能で、パソコンや携帯電話で使用状況を伝える
- ・ CO2 の排出量や省エネランキング等、節電に役立つ情報の発信
- ・ スマートメーターの導入計画につきましては、導入効果が特に高い特別高圧及び高圧のお客様へはすでに取替えを完了している。
- ・ その他低圧のお客様については、平成 26 年 10 月から一部エリアから取替え

を開始し、平成 27 年 7 月から全域において取替えを開始し、平成 34 年度までにすべてを完了する予定。

委員

導入計画について、お客様から設置の要望がある場合は、遅滞なく対応しますとあるが、電気企業法の一部改正によってすべての事業家に設置が義務付けられている中で、希望がない場合設置は後になるということなのか。

中部電力笹平委員

通常は、先ほどのスケジュール通り導入をしていくが、中に早くつけてもらいたいというお客様がいる場合に、早く対応できるというもの。最終的にはすべてのお客様に設置していただく。

委員

電力の自由化で、中部電力だけではなく別のところからも電力を選ぶことができるが、その場合でもスマートメーターは役に立つということによいのか。また、県内において他社の参入の動向というのはあるのか。

中部電力笹平委員

スマートメーターは他社の電力会社でも使用できる。また、他社の参入については、具体的な数字は不明だが、現在自由化されているのが、高圧のお客様について自由化になっている。NTT 系列の電気事業者や商社関係の事業者が参入している。

赤川

前回の会議で、中部電力さんに東御市全体の電気の使用量を教えていただけないかということで、資料 5 ページに教えていただいたものを表にしてある。

この東御市における温暖化の計画の基準年が 17 年であり、24 年度の実績を比較すると 10%ほど節減されている。また、太陽光発電が増えているため、売電により中部電力が買った量が右肩上がりとなっている。

なお、市役所の本庁舎ではデマンド監視システムを導入する方向で動いている。

委員

このスマートメーター自体も電気を使うと思うが、1 次側と 2 次側のどちらの電気をつかうのか。

中部電力笹平委員

1 次側。2 次側だとお客様の使用量に計量されてしまう。

委員

取替えや機種代は無料なのか。

中部電力笹平委員

取替えやスマートメーターは無料。ただ、太陽光などの売電用の計量メーターは最初に設置費用を頂いている。

(4) 意見交換

委員

市民の意識啓発として、年に数回CO₂の削減量を市報等に掲載をして、市の取り組みの周知と併せて啓発を行うことでCO₂削減に繋がると良いと思う。

会長

市の取り組みの情報を発信していくことで、より多くの市民の取り組み促進に繋がるのだと思う。

塚田市民課長

昨年 4 月から我々も環境関係で取り組んでいることを市民の方に広報するようにしている。また、先ほどの生ゴミ堆肥化について、減量化目標があり、目標の達成には可燃ごみの 30%を占める生ゴミを減量化しないとその目標が達成できないということで現在取り組んでいる。

委員

先ほどの CO₂ の見える化について、生ゴミの減量化により昨年よりも昨年より〇%減りましたというような見える化の表示は市民にとっても励みになると思う。

塚田市民課長

東御市は、昨年 4 月から生ゴミのリサイクル施設の建設に本格的に取り組んでおり、地球温暖化等の防止に繋げていきたい。

【閉会】